

ナンバリング		授業科目名(科目の英文名)					区分・【新主題】/(分野)		授業形式							
E111B011		理科指導法(小) (Methodology of Science teaching(elementary school))							対面							
必修選択		単位	対象年次	学部	学期	曜・限	主に使用する言語	その他に使用する言語		担当形態						
必修		2	2	教育学部	後	木4	日本語			単独						
担当教員	氏名 三次 徳二															
	E-mail tokuji@oita-u.ac.jp 内線 7723															
授業の概要	小学校理科の目標や内容構成などの全体像を理解する。また、教材研究法と学習指導構想の具体的な技術を習得し、3年次の教育実習(小)につなげる。															
具体的な到達目標								DP等の対応(別表参照)		1	2	3	4	5	6	7
目標1 目標や内容構成など、小学校理科の全体像を理解することができる。										○					○	
目標2 具体的な授業展開例をもとに、A、B区分の指導法の特徴を理解することができる。										○						
目標3 観察、実験を含め、理科の指導技術を学び、実際の授業について構想することができる。										○					○	
目標4																
目標5																
目標6																
目標7																
目標8																
目標9																
目標10																
各DPへの関連度(計10)										8					2	
授業の内容																
1 授業ガイダンス、小学校理科の目標																
2 小学校理科の内容構成、理科の系統性																
3 理科における観察・実験の実施状況																
4 各学年における思考力、判断力、表現力等の育成																
5 年間指導計画の立案、各単元の指導計画の立案方法																
6 具体的な観点別評価の方法																
7 学習指導案の書き方、ものづくりの指導																
8 授業の構成、板書計画の作成、発問の工夫																
9 各学年で指導する内容、観察、実験の安全管理																
10 模擬授業の実施とその反省(A物質・エネルギーを中心に)																
11 模擬授業の実施とその反省(B生命・地球を中心に)																
12 小学校理科を取り巻く状況、国際学力調査の結果																
13 実感を伴った理解、理科と防災教育との関係																
14 自然体験の状況、理科と環境教育との関係																
15 理科と他教科との関係、授業のまとめ																
ラーニングログ	A:知識の定着・確認		○	演習、模擬授業			工夫その他の									
	B:意見の表現・交換		○													
	C:応用志向															
	D:知識の活用・創造															
授業時間外学修の内容と想定時間	準備学修		学習指導要領解説の通読(15h)、指定した授業動画の視聴(6h)													
	事後学修		学習指導案の作成(10h)、板書計画の作成(4h)、模擬授業の準備(4h)、試験の準備(6h)													
	想定時間合計		45													
教科書	小学校学習指導要領解説 理科編(文部科学省編)東洋館出版社、2018年978-4-491-03463-8															
参考書	参考書を指定しないが、理科(小)の授業で用いた理科教科書があると便利である。															

成績評価の方法及び評価割合	評価方法	割合	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10
	試験	80%	○	○	○							
	レポート（含 学習指導案）	20%	○	○	○							
注意事項												
備考												
リンク												
	URL											
担当教員の 実務経験の有無	○											
教員の 実務経験	文部科学省の教科調査官											
実務経験を いかした教育内容	教育評価，言語活動の充実などの方策の講義											